



東京都立水元小合学園

肢体不自由教育部門

就業技術科

ボッチャ大会 水元小合ドラゴンズ



3チームでの予選リーグ第1試合は、緊張した面持ちの中で苦しいゲーム展開が続きましたが、残り2球目で起死回生のショットを打ち逆転！そのまま1点差で逃げ切り、初戦での見事な勝利を飾りました。決勝トーナメントがかかった2試合目は、序盤から相手の緻密な作戦や技に押され、逆転の糸口をつかもうと最後まで奮闘しましたが、悔しい予選敗退となりました。

9月28日(土)に開かれた「第3回 CACカップ 学生ボッチャ交流戦」に参加しました。今年度も就業技術科の生徒3名と肢体不自由教育部門の中学生2名で「水元小合ドラゴンズ」というボッチャチームを編成しました。

希望者を募ると、両部門から計14名の生徒が参加を表明し、6月より計3回、土曜日の午前中に第二体育館で合同練習を行いました。外部講師として昨年度に引き続き、佐藤勝枝さん(東京ボッチャ協会副会長)をお迎えし、選手として出場する5名以外の生徒も積極的に練習に励んでくれました。大会が近づいた9月にはCACスタッフから事前取材を受け、1週間前には選手同士で給食を食べながら、大会当日に向けて作戦の最終確認などをしました。



応援生徒も交え、開会式に臨みました



ボードを見て、ゲーム前の作戦会議です



最後の一球まで、あきらめませんでした

投球順や狙うボール、投げる角度や位置などを1球ごとにしっかりと声を掛け合って確かめ、チームとして互いに協力して勝利を目指す姿に、これまでの練習の成果が表れていました。ゲームを終えると、初めて経験する大会の緊張感の中、持てる力を出し切ったという清々しい表情が印象的でした。

今回もパラスポーツの理解を深め、本校両部門の絆を深める貴重な一日となりました。ボッチャ練習から参加した全員、両部門の更なる連携の架け橋となってほしいと願っています。

